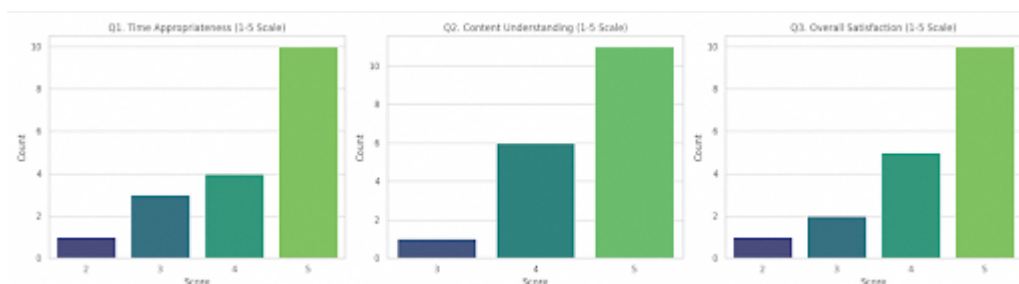


金山町の地域づくりを考える出前講座 アンケート結果まとめ



ご提出いただいた CSV ファイルに基づき、アンケート結果（回答者 18 名）の分析を行いました。

全体として、満足度が非常に高く、具体的なアクションへの意欲が高いことが特徴的です。特に、受け身ではなく「自分たちで何かを始めたい」という前向きな意見が多く見られました。

以下に分析結果の詳細を報告します。

1. 定量評価の分析（満足度・理解度）

3つの設問すべてにおいて、平均4点以上（5点満点）という高い評価が得られました。

項目	平均スコア	特徴
Q1. 講座の時間	4.28	おおむね適切と評価されていますが、「意見交換の時間をあと10分ほど欲しかった」という積極的な要望もありました。
Q2. 内容の理解	4.56	最も高い評価です。事例紹介などが具体的で、参加者が自分事として捉えられたことが伺えます。

Q3. 全体の満足度	4.33	非常に高い満足度です。具体的な活動イメージを持てたことが要因と推測されます。
------------	------	--

2. 参加者の属性

- 地域：主に「横田」「川口」地区の住民が中心です。
- 所属：地区の役員（区長、農用地利用組合）だけでなく、社協、地域おこし協力隊、町議会、そして「地元民」としての参加など、多様な立場の人が集まりました。

3. 自由記述（ご意見・ご感想）の分析

11件の具体的な記述回答があり、以下の5つの主要なテーマに分類できます。

① 具体的な「場」と「組織」づくりへの意欲

- 「横田のためにカフェを作りたい。夜は居酒屋。気軽に誰でも立ち寄れる場が必要」
- 「新たな組織を作るのではなく、今ある組織や活動を活用しながら進めるべき」
- 「コアメンバーになりうる人に個別に声をかけて、課題を共有する会議をやってみては」

② 若者・多世代交流への期待

- 「若い世代も参加しており、世代間で考えることができたのが良かった」
- 「学生ボランティアに興味がある。役場でメニューを取りまとめてほしい」
- 「兼子さん（講師）が70歳を超えても精力的で、若者に背中を見せているのが印象的」

③ 継続性とスピード感への要望

- 「出前講座1回で終わるのではなく、定期的な集まりが必要」
- 「住民主体の発起を待つばかりでは難しい局面に来ている。町のアピールも必要」
- 「みらいくる事務局の話は周知の事実。もっと『どうしたら良いか』に時間を割くべき」（一部、より実践的な議論を求める厳しい意見もありました）

④ 女性の参画

- 「女性の方の参加が必要」という明確な指摘がありました。

⑤ 自分事としての気づき

- 「自分たちもできるかもしれない…！と、具体的なイメージを持つことができた」
- 「自分が生き生きと活動することが一番の特効薬」

4. 総評と今後の提言

今回のアンケート結果からは、住民の意識が「課題の共有」から**「具体的な行動」へとフェーズが移行している**様子が読み取れます。

- **ネクストステップの提案：**
 - 「コアメンバー」による小規模会議の開催： アンケートで提案があったように、熱量の高いメンバー（コア層）に個別に声をかけ、具体的なプロジェクト（例：カフェ作り、ボランティア受入）を検討する場を設ける。
 - **既存組織との連携：** 新組織を立ち上げる負担を避け、既存の自治会や組織の中に「若者・よそ者」が入りやすいプロジェクト単位の活動を作る。
 - 「場」の実験： 本格的なカフェオープンの前に、公民館などを借りた「1日限定カフェ」や「居酒屋」イベントを行い、住民が気軽に集まれる場をテスト的に作ってみる。

参加者の熱量が高いうちに、次の具体的な「集まる場」を設定することが重要だと思われます。